



主な内容

- 2……災害時要援護者支援制度、災害情報の入手方法
- 3……高額医療・高額介護合算療養費制度、国津の杜の行事
- 4……2月の相談、まちづくり仕掛け人

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



ほっとする 居心地いい場所

ここへ来ればだれかに会える。気軽にお茶を飲みながらおしゃべりしたい。そんな居心地のいい交流スペースを地域の中に行こうという取組みが、いくつかの地域づくり組織で進められてい

ます。今号では、地域福祉の視点から、そして、コミュニティビジネスにもつながるかもしれない、つつじが丘・春日丘自治協議会のコミュニティサロンの取組みをご紹介します。

☎ 地域経営室 ☎ 63-7484



住民交流の場に
交流サロン「モア」

高台にあるつつじが丘公民館のロビーホール、眺めのいいこのスペースは居心地いい場所。つつじが丘・春日丘自治協議会が、公民館にコーヒーを飲んで交流できるカフェをオープンさせて1年が経ちました。名前は交流サロン「モア」。暖かい雰囲気になればとの思いからです。

「近所同士つながりが薄くなったと言われる中、どのように住民同士が交流できるのか」「地域の皆さんがたくさん集まる公民館で、住民交流になる事業ができないか」「コーヒーを飲みながら、ほっと一息つける場所が地域の中にあれば、住民同士の交流になるのでは」。そんな住民の皆さんの声が多く上がったことが、運営を始めたきっかけだと思います。



地域の課題を
継続的な活動で解決

継続してサロン活動をするための話し合いが何度も開かれました。協力の呼びかけに、多くの賛同者が現れ、サロンの設備や備品の設置から、季節の絵手紙などの展示まで、すべて住民の皆さんで行ったといいます。住民交流を目的に、わずかな参加料(対価)によって、継続した事業展開を可能にする仕組みを整え、サロン事業は動き出しました。「ここに来たら、ほっとするのよ。サロンには、笑い声が絶えません。」

このサロン事業は、地域の課題解決のため、地域の人材、知識、施設を活用し、地域を活性化するためのヒントを教えてください。



スタッフの森田 紀子さん(右)、片山 サエコさん(左)

楽しくて、生きがいにつながります

スタッフ募集の回覧を見て、わたしたちにもできそうとスタート時から参加しています。今は、月2回の午前中の3時間がわたしたちの担当です。家では夫と二人暮らし。時間もあるし、できる範囲で地域の役に立ちたいと思っています。

多くの人に来てくれた日は、忙しさが楽しくて、生きがいと働きがいがあります。何より、ここに来ると色々な年代の人と話ができて、本当に勉強になるんですよ。

サロンを多くの人に知ってほしい

スタートして1年が経ち、1日40人~50人が来てくれています。参加料は100円。こだわりのコーヒーは、「おいしい」と評判なんです。スタッフにも交通費程度の報酬を支払い、運営が継続できるようにしています。

散歩の途中で立ち寄ってくれる常連の人もいて、「こんなことしたら」と意見をもらい、次のアイデアが生まれることもあります。多くの人にサロンを知ってもらい、交流が広がっていけばと思います。



サロン事業 運営委員会
委員長 富久 宗夫さん